

復興後に備え機構改革を

状況に応じて対応したい



議員 村上 剛一
(未来クラブ)

問 復興後を見据えた機構改革がそろそろ必要と
思うがどうか。

佐藤町長 行政組織機構の見直しは29年度からの実施に向け準備を進めている。効率的で効果的な行政運営を行うためであり、復興後を見据えた機構改革は、今後の状況などに応じて対応していきたい。

問 復興事業が終了すると働き口が不足することが心配される。企業誘致などを推進する部署を考
えてはどうか。

花坂総務課長 現状では復興事業の窓口の一本化など、さまざまな問題を踏まえ、復興企画課を新設することにした。変わり目の部分の機構改革であるということを理解願
う。

給食センターの建設計画は

来年度、実施設計を組みたい

問 復興後を見据えた教育の在り方が問われていると思う。学校の統廃合を視野に入れた検討を行っているか。

佐々木教育長 学校の統廃合については今のところ具体的計画はないが、町の教育の在り方について、学校や保護者の方々と意見交換する機会を持ちたい。

山田の給食センターは素晴らしいと言われるような施設をつくってほしい。そのためにも来年度から検討委員会などを立ち上げてもらいたい。

問 学校給食センターの建設計画は、どこまで進んでいるか。

箱山教育次長 本年度は前回の実施設計が使えるかどうかも含めて検討し、来年度に実施設計できよう準備を進めたい。

町づくり オンラインワンを目指しては

コンパクトで美しく 活気ある町を目指す

問 なかなか町の姿が見えてこないが、魅力ある町にするための構想を示されたい。

町長 集落の再生を基本

としつつ、コンパクトで暮らしやすい町。豊かな自然を生かし、集落と海、山が一体となった美しい町。多様な産業が活

発に展開する町。この3点を目指す町づくり構想のもとで各種事業を進めてきた。今後もこの構想をもとに各種事業の進捗に努める。

沼崎復興推進課長 電柱地下埋設は長所短所がある。山田らしい町を目指しバランスを取りながら町づくりを進めていく。



給食センター予定地

その他の質問

- ◆ 旧・前山田病院の跡地利用は
- ◆ 災害危険区域の土地利用計画は
- ◆ 仮設住宅の集約化は
- ◆ 支援事業終了後の水産業の展望は
- ◆ 町独自の給付型奨学金の新設は